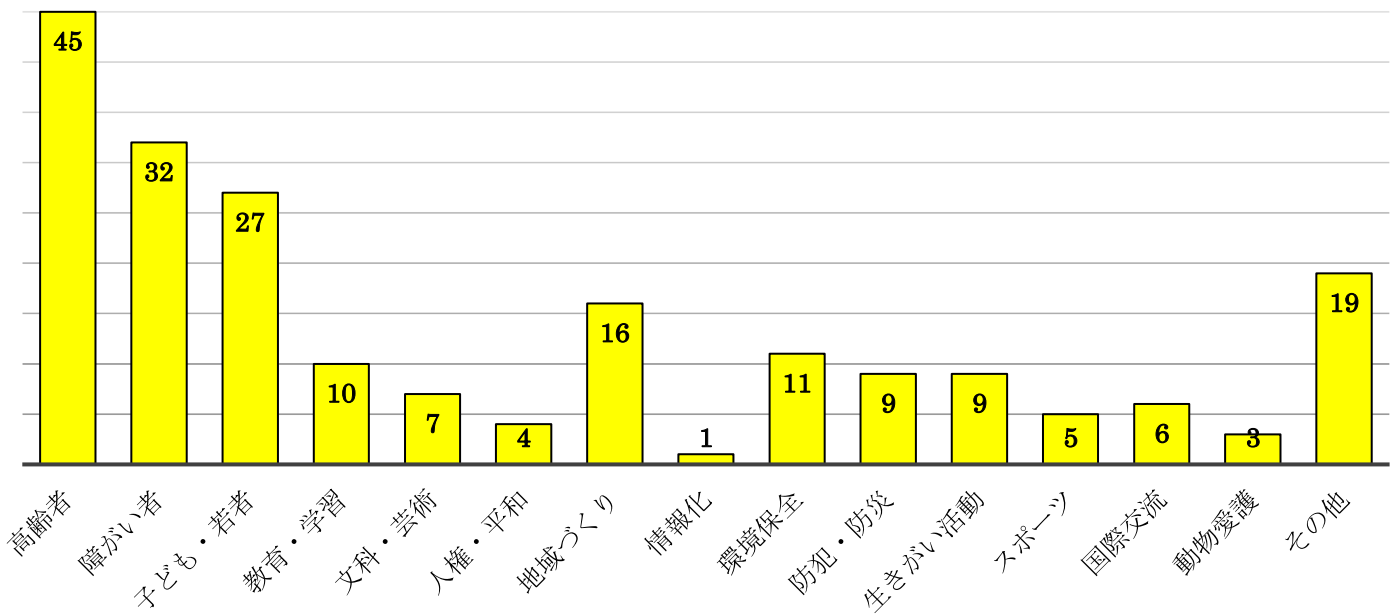


令和２年度 ボランティア活動に関するアンケート (登録団体・個人)

ボランティア登録いただいている 68 団体及び、個人ボランティア 222 名の計 290 名にアンケートを郵送したところ有効回答数 87 件（回答率：30％）回答があった。

問 1. 活動の分野は何ですか？【複数回答可】

活動の分野

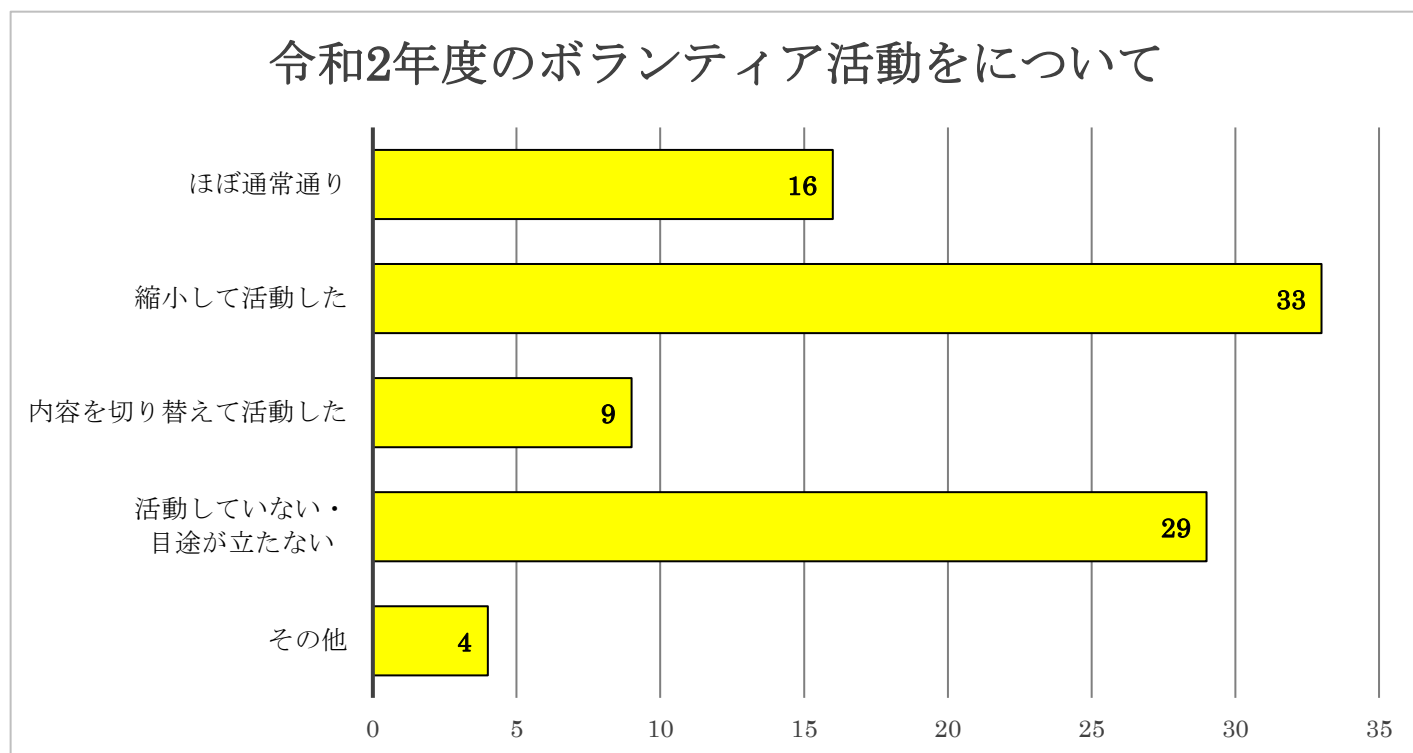


- その他
- ・社会的弱者(出所後の方)
 - ・災害ボランティア（4名）
 - ・災害・被災地・避難所・仮設住宅からのニーズ
 - ・自然災害後、ファイナンシャルプランナーとして、生活全般の相談
 - ・主に行事やイベント等の単発活動。
 - ・相談・道案内
 - ・生活支援
 - ・図書整備、おもちゃ修理
 - ・運転ボランティア
 - ・音楽
 - ・マジック・大道芸
 - ・紙芝居
 - ・利用者が希望し、当方が対応できる事全て
 - ・介護予防運動

高齢者	45
障がい者	32
子ども・若者	27
教育・学習	10
文科・芸術	7
人権・平和	4
地域づくり	16
情報化	1
環境保全	11
防犯・防災	9
生きがい活動	9
スポーツ	5
国際交流	6
動物愛護	3
その他	19

(回答数:87 名)

問 2. 令和 2 年度ボランティア活動をされましたか？



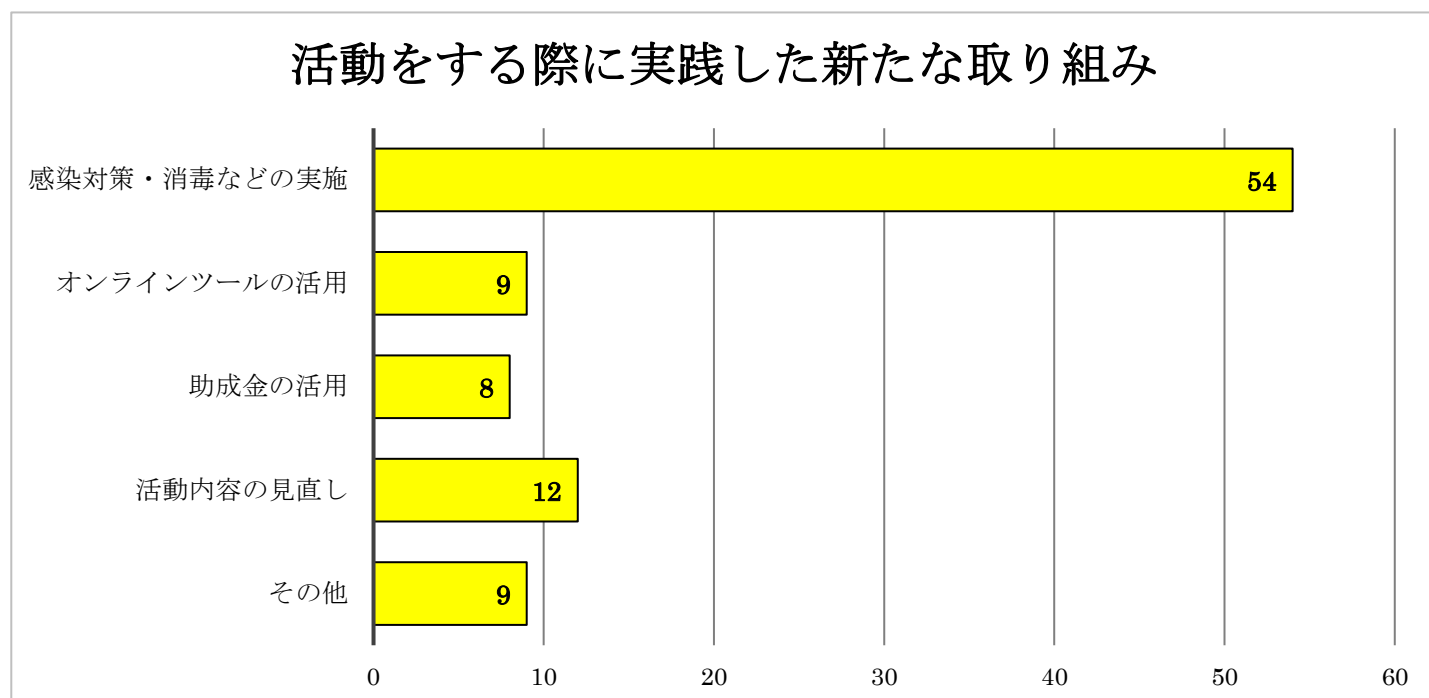
その他

- ・たまに
- ・日程調整(変更)は多く発生しました。
- ・校内：校内のみボランティア活動。
- ・11月のみ活動しました。
- ・1ヶ所のみ。7月～12。
- ・一時内容を変更して活動しましたが、現在休止中。

ほぼ通常通り	16
縮小して活動	33
内容を切り替えて活動	9
活動していない・目途が立たない	29
その他	4

(回答者：86名)

問 2-1. 上記問 2 で『ほぼ通常通り・縮小して・内容を切り替えて』活動したと答えた方のみ。
活動をする際に実践した「新たな取り組み」や「工夫した活動」はありますか？



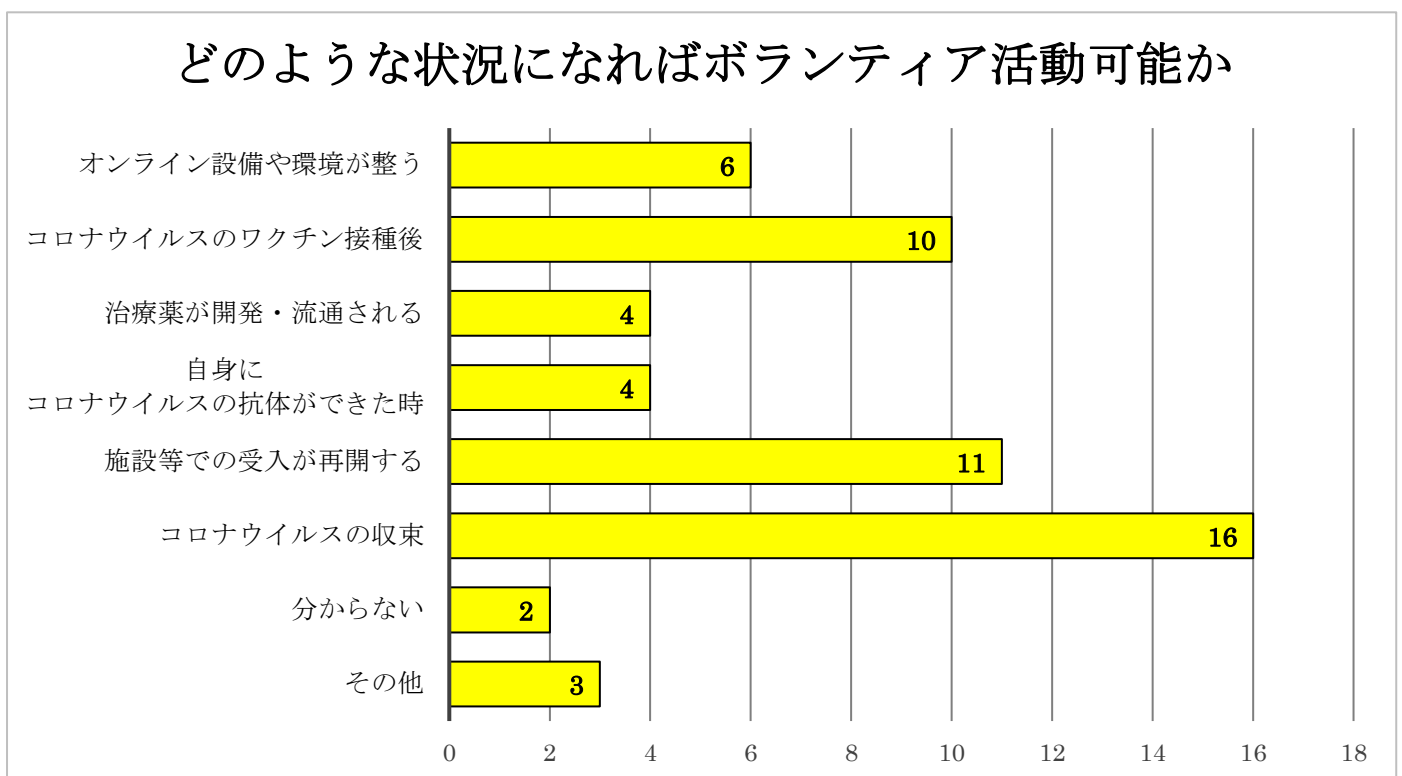
その他

- ・もともと「文通」という在宅でできるボランティア活動。
- ・活動団体(区・消防・ボラ団体)が活動休止。
- ・クラウドファンディング。
- ・会議数を減らした。対象者とは電話で話した。
- ・一度に集まる人数を減らした。
- ・少人数にて実施。
- ・開催場所の開所日程に従い、結果的に縮小。
- ・出前ボランティアの進行や内容の変更、少人数での活動。
- ・(名前指導など至近距離での指導) 接触せず、指導できる内容に変更した。

感染対策(マスク着用)・消毒などの実施	54
オンラインツールの活用	9
助成金の活用	8
活用内容の見直し	12
その他	9

(回答数:60 名)

問 2-2. 上記問 2 で『活動していない、目途が立たない』活動したと答えた方のみ。
どのような状況になればボランティア活動可能とお考えですか？



その他

- ・依頼があれば可能なかぎりいつでも。
- ・現状でも内容によっては可能。
- ・料理室が使えるようになったら。

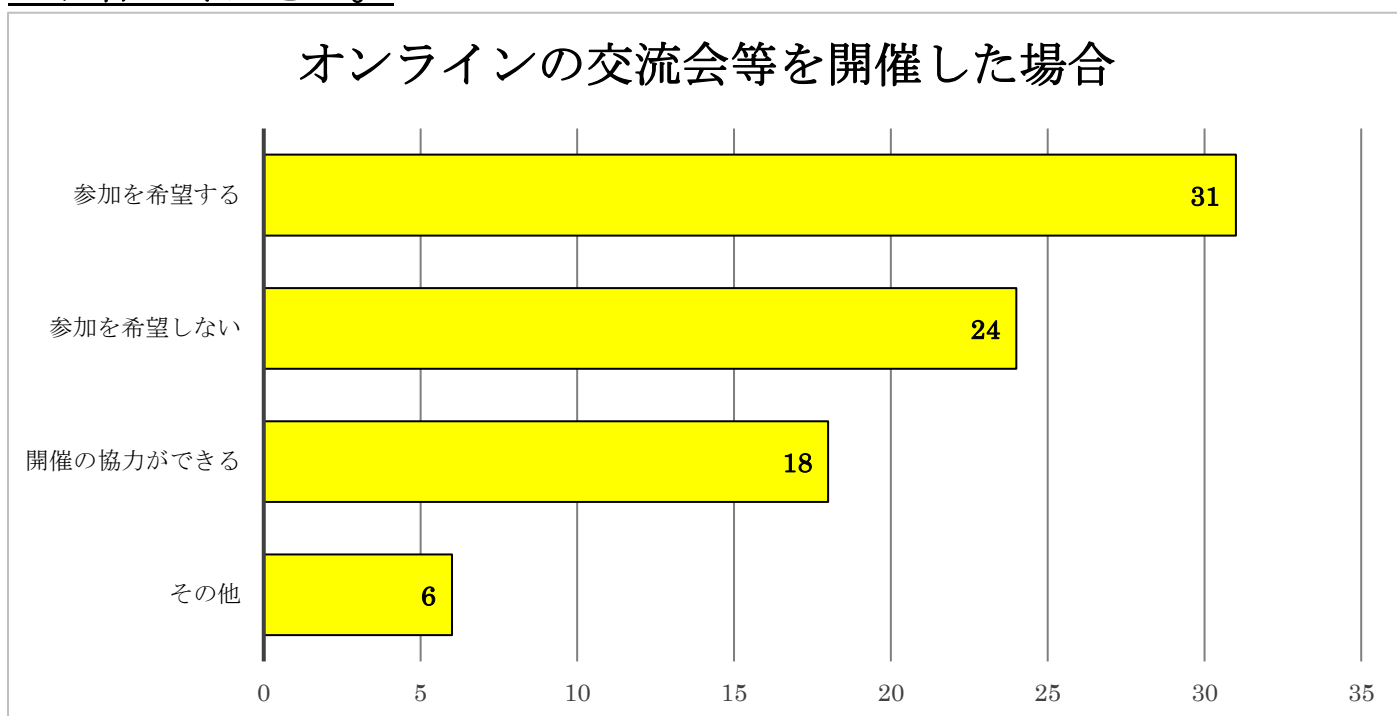
オンライン設備や環境が整う	6
コロナウイルスのワクチン接種後	10
治療薬が開発・流通される	4
自身に抗体の確認ができた時	4
施設等での受入が再開する	11
コロナウイルスが収束	16
分からない	2
その他	3

(回答者:31 名)

問 3. ボランティア活動をしていく上で、困っていることや課題はありますか？ (自由記入) (回答者：53 名)

- ・申し送りの時の説明と実際にやってみての食い違いがある時。
- ・課題：災害時の感染症対策。
- ・参加者あつめ
- ・ボランティアとして外出すること自体が、不要不急の外出に当たるのではと迷うこと。
- ・保育園でのボランティア活動なので、幼児達と密接なものとなっていた再開後の新しい接し方が解らない。
- ・オンラインでやる時にシニアは参加者が限られる。
- ・生活支援ボランティアです。長い間、2人以上での活動が原則でしたが、最近はおっぱら1人です。人が足りません。何か問題があった時を考えると少し不安です。
- ・自分で行いたい事とボランティア活動内容が合わない。
- ・コロナ禍への対応が現場で追いついていない。
- ・訪問先の利用者さんがマスクをしていない場合が多い。マスクをしてもらうようにしているが、言いづらい。
- ・ボランティア活動したいのですが、募集がない。
- ・毎月一回高齢者施設に訪問しておりましたが、コロナのため訪問が出来なくなっていました
- ・感染対策をどこまでやるかが課題だと思う。特にマスクだと表情が見えないのでやりにくいから、フェイスシールド、マラは距離をおいてやっているが。
- ・シニアなので、周囲からはコロナをうつしてはいけないと思われ、また、自分自身は他の人にうつさないか心配です。
- ・換気を良くするため窓を開放したが冬は寒かった。(例会に使用した集会室)。出前講座で生徒たちに日用品を回覧できない。
- ・オンラインを使用も考えたが、年齢層が高く使えない人がいるので断念…。部屋の人数制限、見学の人がもし来ても受け入れられないかも…。
- ・活動で得た課題をボランティア登録元に提案しているが、解決に至らない。
- ・遠い所(駅から)の施設への訪問(移動手段)
- ・団体の会計事務や名簿管理など組織運営が追いつかない。公共的な施設を貸してもらえない。(コロナのため)
- ・高齢者対象の茶話会、食事会で宣言が出ると集会所(団地内)が使用禁止になります。宣言が出ない時でも、感染者が多いと行事は怖くて行えない(参加者全員 80 才以上のため)
- ・会員のネット環境が様々なので、オンライン導入にふみきれない。コロナ禍での活動に否定的な意見を強く持っている人がいる。活動再開を希望する人もいるので調整が難しい。
- ・聴覚障害者は、手話のみではなく顔、表情、口元でことばをよみとるので、マスクを着用だと読みとるのが難しくなる。講師の皆にはフェイスシールド着用をすすめているが、予防的に安全ではないのでそれが不安。透明マスクの形が進化しているので、使えるものがあれば使いたいと思う。
- ・自助団体の為、体調に波が有り、確実な予定をたてる事が難しいです。

問4. 今後オンラインでの交流会や講座・イベントを開催した場合についてお答えください。



【その他】

- ・4月以降の就職が未定なため活動も不明。
- ・パソコンが無いので参加できない。
- ・オンラインが使いこなせる様になれば参加したい。
- ・自分がパソコンをもっていない。
- ・条件付きなら希望参加。

参加を希望する	31
参加を希望しない	24
開催の協力ができる	18
その他	6

(回答数：77名)

【オンラインに関して何かあればご記入ください】 (回答者:40名)

- ・使い方が解らないので無理です。
- ・PC, スマホがないので、会場で参加したい。
- ・今後デジタル化が進んでいくと、オンラインシステムでの開催が出来ていくでしょうね！
- ・LINEでの経験はあるが、あまり詳しくない。
- ・災害ボランティアにオンラインではなかなか伝わらない。
- ・高齢者はオンラインは難しい。コロナウイルス感染がおさまるまでは、交流会や講座はやらない方が良いでしょう。
- ・ZOOMはかなり使い慣れた。
- ・活動を動画で配信できれば、本サイトやYouTubeなど…。
- ・オンラインによるイベント、交流会に参加しているので利用については支障がありません。
- ・オンラインの交流会や講座などに積極的に参加したいとは思わない。
- ・オンラインを活用した事がないので不安である。ツールがパソコンではなく、スマートフォンになってしまう。
- ・基本的には参加希望しませんが、興味のある講座がございましたら、参加したいと思います。

- ・ボランティア活動の性格上オンライン開催はなじまない。
- ・会場の用意がむずかしい。
- ・教養の身につく講座の企画をお願いします。
- ・会員全員が対応、参加できるわけではないが、何かできることから動いた方がよい。オンラインの方が参加しやすい人もいると思うので、講演会など積極的に開催してほしい。
- ・オンラインはある程度なら使用可能ですが、手話通訳者も参加してもらう必要があり、事前打合が重要になる。
- ・オンラインを利用したことがありませんので、利用方法を教えて頂ければ参加したい。

問 4. ご意見・ご要望などありましたらお答えください。(回答数:31 名)

- ・以前参加した、かつしか祭り※“初参加歓迎”と初めての人へ特に呼びかけていた。(バザーなどボランティアセンターで)のような催しものの事前の説明会では、全く初めて参加する者への説明ではなく、今まで活動しているでき上がった知り合い同志の集まりであった。とてもいごちが悪く、知りたい情報や説明はほとんど得られなかった。このような集まりなら参加はしないが、“正しいボランティア活動や交流”なら参加したい。
- ・シニア世代向けのオンライン講座（ZOOM など）の開催があれば協力したい！！
- ・昨年登録しましたが、まだ依頼がありません。今後、野外での活動（除草など）ありましたら是非お声がけ下さい。よろしくお願い致します。
- ・コロナが一段落するまで集まりたくないです。
- ・ボランティア活動が老後の生きがいになっていたことが、コロナウイルス感染パンデミックで中止となって、初めてその重要さを思いしらされている。
- ・簡単な電球交換や窓ふき等など、すぐ出来るのは、仕事しても良いのではないかと思います。私の意見です。
- ・ボランティア活動報告のパネル展の開催がなくなって、残念でした。ネットで閲覧できればうれしいです。
- ・情報共有など他の区や市町村と連携できるしくみを作ってほしい。
- ・外部の方と接する機会をもし頂けましたら嬉しいです。(どんな形であれ) 宜しくをお願いします。
- ・この様な状況でもぜひやって欲しいといわれ、行っているところですが、何ヶ所かあります。特に高齢者は危ない面もありますが、歌う、声を出すことは必要です。できるだけオンラインではなく対面でやっていきたいと思います。
- ・ボランティアは人と人との直接的な交じりが基本と考える。言葉、ふれ合い、それこそ人間です。オンラインは望みません。高齢者の認知度の低下はふれ合いのない事でしょう。施設への強力な援助をしてほしい。
- ・問 2 で②縮小して実施した。→積極的に”縮小した”訳ではなく、利用者側が規模や回数を減らした。概ね安全と思い協力はした。問 2-1 の感染症対策の実施→これは「取り組み」とか「工夫」とかではなく「常識」なのでは？自分だって罹りたくないですから。
- ・ボランティアの中には IT 系に親しみがない人もいるので、ズームの使い方、スマホパソコンの使い方の学習会を開催してほしい。ウェルピアでワイファイが使えるようにしてほしい。
- ・ボランティア活動を始めてすぐコロナになってしまった。団体同士がつながる機会があるといいなと思いました。活動分野が違っていても、協力し合うことで、より活動の場が広がったり、地域に貢献できるようになればいいなと思いました。